

工大 広報

Tohoku Institute of Technology Magazine

No. **309**
2023.4 SPRING

コミュニケーションで
チームの組織力を
高めよう

東北工大の「いま」と「ミライ」が分かるマガジン



未来のエスキースを描く。

特集

LABORATORY REPORT 研究室通信

人との共生を可能にし、つながりを生み、
幸福度を高めるコミュニケーション

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科
宮曾根 美香教授

目には見えない無線通信ネットワークで
人とモノをつなげる新たな未来を

工学部 情報通信工学科
工藤 栄亮教授

CONTENTS

P02 【INTERVIEW】渡邊学長が語る

「東北工業大学ブランディングプロジェクト」

P10 【TOPICS】地域連携センター／研究支援センター

P12 【TOPICS】課外活動優秀者表彰式

P13 【TOPICS】学位授与式／工大クラブ・サークルFILE

P14 【TOPICS】2022年度(令和4年度)卒業研修発表・展示会レポート

P15 【Information】イベント情報、前期スケジュール



TOHOKU INSTITUTE
OF TECHNOLOGY

2023年4月、
東北工業大学ブランディングプロジェクトが始動。

大学に関わるすべての思いを束ねた より良き時代を創るための未来図を。

思いを同じくするメンバーが集結して 新たなブランドビジョンを策定

本学は、建学の精神と2003年から掲げているスローガン「創造から統合へ―仙台からの発進―」に則り、高度な専門知識と問題解決能力を備えた優秀な人材を育成すべく長年尽力してきました。しかし、情報や技術の発展著しいこの時代、社会の急速な変化に対応しながら、未来を見据えた大学の存在意義を明確化する必要があると考えました。

本学の「強み」や「特色」を活かした東北工業大学のあるべき未来像を構築することが急務だという意識を共有した教職員らで、2021年に「東北工業大学ブランディングプロジェクト」の検討に着手しました。その第一歩として、私が学長に就任した同年4月1日に、「東北を支えている、というプライド」と題した河北新報朝刊一面広告で、私自身の意気込みを語るとともに、プロジェクト推進に向けた意思表示も行いました。

副学長を含むワーキンググループメンバーは、本学に対するイメージをつかむためアンケートを実施。各種データの分析や在学生らへのヒアリングも行い、グループメンバーの元に集まった多くの声に考察と議論を重ね、ブランドビジョン策定を目指して奔走しました。それによって、社会やステークスホルダーにとっての意義や価値を未来志向で描く本学独自の「ブランドビジョン」を形作っていきました。



わた なべ ひろ のり
渡邊 浩文学長

PROFILE

埼玉県ふじみ野市出身。1994年に早稲田大学で博士(工学)を取得。東北工業大学には、98年に工学部建築学科の講師として就任。2008年に教授となり、14年からは学部長を務める。16年に就任した副学長を経て、21年度に学長に就任し、現在に至る。専門分野は都市環境学。

ブランドスローガン

未来の
エスキースを
描く。



多様な価値観が、多彩に輝く現代——。

東北工業大学の工学・建築学・ライフデザイン学は、東北だからこそできる学びと研究を融合し、新たな知と人をつなげながら、これからの暮らしの、社会のあり方を模索し続けます。

そして、よりよい未来のために、多くの選択肢を世の中に提示します。

確かな意思をカタチにしていこう。

未来のエスキースを描く。



東北工業大学ブランドサイト
<https://www.tohtech.ac.jp/brand/>

意義や価値を明確にするための 根幹となる3つの概念とは

ブランドビジョンは、「存在意義」「提供価値」「個性」という3つの概念で構成されています。

●存在意義「未来のくらしのエスキースを描く」

本学は工学部、建築学部、ライフデザイン学部の3学部を擁し、いずれも人々の暮らしをよくするための学問を目指しています。東北の地だからこそできる学びを究め、それぞれの場で十分に力を活かせる人材を育成。時として分野横断する研究にも挑みながら、社会課題の解決に協力し、これからの暮らしを模索し続ける責務こそが、本学の「存在意義」です。これを端的に言い表したのが、「未来のくらしのエスキースを描く。」というブランドビジョンなのです。

●提供価値「ひろく学び、知をつなぐ」

ひろく学び、知をつなぐ場を提供することが重要な役割であると考え、多様な選択肢を得た卒業生たちが社会を支える一員となるよう送り出すのが本学の「提供価値」です。さらに、東北の自然と地域のサステナビリティをリードし、より良い社会や暮らしを描き出すアイデアや技術を届けることも、価値の1つだと考えています。

●個性「Innovative & Imaginative」

進歩的で堅実といった工業大学らしい「個性」と、教員や学生などへの聞き取りによって得られた楽しくてアクティブな本学ならではの「個性」を集約した理想像を、「Innovative & Imaginative」と言い表しました。これまで、比較的小さなイメージを持たれていた東北工業大学ですが、オープンで親しみやすく、自由な風土が豊かな個性を養う土壌になっていることを、積極的に学外へ広めていきたいと思っています。

学内にとどまらず広く社会へ向けて 未来のエスキースを力強く発信

ブランドスローガンで象徴的に使われている「エスキース」とは、素描、下絵、素案、概要を意味し、デザインや建築の専門分野でもよく使われる用語なので、私たちにとっても馴染み深い言葉です。そこには、自由な発想を大切に、試行錯誤を繰り返しながら理想に近づこうとするプロセスこそが成長につながるという考え方が込められています。学生の皆さんには、手近にある1つの答えにとらわれることなく、それぞれの意思を信じて行動し、予定調和で終わらない学びの時間を楽しんでほしいと願っています。

今年度より本格始動する「東北工業大学ブランディングプロジェクト」は、学内すべての人に自分事として捉えてもらい、ブランドビジョンの核にあるスピリットに共感してくれることを望みます。そして、学生の保護者や本学の卒業生にも、大学が目指す未来を共に思い描く喜びを共有してもらえたら幸いです。また、産業界との連携や地域貢献といった社会との関わりを深めていく上で、教育や研究の成果を社会へ還元していく姿勢をより力強く発信していくことが、これからの命題だと考えています。

LABORATORY
Report

研究室通信 Vol.17

ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科みや そね みか Miyasone Mika
宮曽根 美香教授

PROFILE

国際基督教大学卒業後、デュポン株式会社に
入社、実験データの翻訳や特許関係の仕事等
に携わる。その後ニューヨーク大学教育学部
大学院でTESOLを専攻し、本学には1993年
(文科系学科)講師として着任。96年に人間科
学センター助教授、2007年に教授、08年にラ
イフデザイン学部経営コミュニケーション学科
の教授となり、現在に至る。15年に東北大学
大学院教育学研究科博士後期課程を修了し、
博士(教育学)を取得している。

担当科目

コミュニケーション入門、対人コミュニケーション、
チャレンジアブロードプログラム、ドキュメ
ントコミュニケーション、身体表現研究



【研究テーマ】

人との共生を可能にし、
つながりを生み、
幸福度を高める
コミュニケーション

ニューヨークの複雑な言語環境を経験し、日本人の英語コミュニケーションに洞察を深めていった宮曽根先生。さらに視野を広げ、コミュニケーションの性質や力を理論的に捉え、学術分野も横断しながら多方面で検討を行う研究にも取り組んでいます。そして、良好なコミュニケーションが導くwell-being(心・体・人が満たされた幸福)と共生の未来はどんなものであるかを、時流なども鑑みながら追求しています。



宮曽根研究室の様子

お国訛りの英語が飛び交う大都市で
英語コミュニケーション研究に傾倒

——研究者の道に進むきっかけは。

企業を退職後ニューヨークで大学院生活を送ったのですが、この都市はhotchpotch(ホッチポッチ:野菜のごった煮)と呼ばれているように、多民族・多言語の人々がそれぞれ自己主張しながら一生懸命暮らしています。彼らが母語の訛りを含んだ英語を使い、文法や用法のミスを気にせず話していることにカルチャーショックを覚えました。私は彼らとの対話を通して、第二言語習得環境では言語習得のモチベーションが高いことを認識しました。その上で、英語を母国語としない人々にどのように英語を教えるかに興味を持ったことが、この分野の研究に進むきっかけとなりました。

日本人は長期にわたって英語を学んでいるのにミスを恐れ、英語でのコミュニケーションを苦手としている人が多いと感じます。外国人が堂々と英語を使う姿と対照的なのも強く印象に残っており、日本語という母語の影響を強く受ける日本人が、英語でのコミュニケーションを円滑にするためにはどのような方法がベストかを知りたいとも思いました。



コミュニケーションと幸福度の関わりを 多分野の知見を取り入れながら検討

——どのような研究に取り組んでいるのですか。

私の研究は、コミュニケーションへの切り口、関わり方で変化していきました。第1フェーズにあたる期間では、ニューヨークでの体験が出発点となり、英語による他者への円滑なメッセージの伝え方と、メッセージの理解の仕方にフォーカスしました。英語を学ぶ上で、日本人が抱える困難点となっている音韻認識、ロジックについて検討し、英語学習の初期段階で習得できる方法を探ってきました。

そのような中、コミュニケーションは幸福感和深いつながりがあるという海外の研究の知見に触れ、他者との関係性にフォーカスしてコミュニケーションを研究する第2フェーズに発展しました。価値観や立場の違いなどが介在する相互関係の中で、どのように共生し、良好な関係を作り出すか。そこから、肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態にあるwell-being(ウェルビーイング)という概念に及びました。

これは単独分野の研究では難しく、経済学の金井教授、心理学の二瀬准教授と共に学内でWell-being研究所というプロジェクト研究所を立ち上げ、幸福について学際的に検討し考察を深めているところです。

——肉体的に満たされたwell-beingのためには。

私は、個人スタジオでハタヨガのインストラクターとしてヨガの指導を行っています。よく知らない人には、ヨガはストレッチ体操のように捉えられがちですが、呼吸を丁寧に言いポーズをとることで内なる自分と対話し、同じ空間と時間を共有する他者ともプラナ(エネルギー)を感じ合う、コミュニケーションの手段になります。本学でも、「身体表現研究」という授業で学生たちに体験してもらっています。

意味の共有と相互理解を図りながら 相手の幸福度も上げる対話の心がけを

——学生に最も学んでほしいことは。

状況・文化両方のコンテクスト(文脈、背景)を踏まえて、コミュニケーションを図ることを意識してほしいと思っています。コンテクストを把握することで、コミュニケーションの手法や意識すべきポイントも異なります。ビジネスシーンだと、相手との情報共有や相手を説得し、アクションを起こさせることが目的となり、そのためのスキルを身につけることが求められます。より私的な対話だと、共感と受容の姿勢も必要です。どちらにもセルフモニタリングと聴く力が大切です。また、低コンテクスト文化の人と話す時には、まず先に結論を明示し、その後で具体的な理由を述べることを心がけてください。そして、メッセージの受け手は自身のフィルターを通して意味づけを行うので、相手が理解してくれることを前提にせず、相手と意味が共有できているかを確認することも大切です。

これらは、社会人になってすぐに身につくようなものではありません。本学での学びを実践し、試行錯誤を続けて修得してください。

——本学科で学ぶ学生に望むことは。

2つあります。1つ目は、これまで自分が体験した出来事や事象をコミュニケーション学の観点で解釈し、理解すること。2つ目は、コミュニケーションが持つ力を意識して対話をしてほしいということです。これからの社会は、多様な考え方や価値観を持つ人々たちの共生が、より求められていく時代になるでしょう。コミュニケーションは、自分だけでなく他の人たちの幸福度も上げる力を持っています。ゆえに、それらを意識して他者とのコミュニケーションを深めてほしいと願っています。



1 マレーシアのウタラマレーシア大学で開催された国際学会のプログラム集と贈呈された盾 2 地域活動で関わっているヨガクラスの風景



どの旅にも、何らかのコミュニケーションと気づきがあります。

直近では、2019年に息子、娘と3人で訪れたNY旅です。大学院時代に過ごしたグリニッジビレッジに滞在し、暮らすように旅をしました。私が研究者としての一歩を踏み出した街は変わらずエネルギーが溢れていますが、人々が優しくなっていました。今回は自分と対話をしながら、共生のためのコミュニケーションも意識しました。



わたしと旅

COLUMN

おしえてください
研究者の「こころの中」

最前線の研究をレポート!

LABORATORY REPORT

研究室通信 Vol.18

工学部 情報通信工学科

く どう えい すけ
工藤 栄亮教授

Kudoh
Eisuke

PROFILE

1986年に東北大学理学部物理学科を卒業、1988年に同大学院理学研究科博士前期課程修了。同年4月に日本電信電話株式会社へ入社し、無線通信の研究に携わり、2001年に東北大学で博士(工学)の学位を取得。同社を退社後、2009年3月まで東北大学大学院工学研究科准教授として教鞭を執った後、2009年4月から本学工学部情報通信工学科の教授に就任し、現在に至る。2005~2007年には内閣府府上席政策調査員(非常勤)も務める。

担当科目

通信システムⅡ、通信工学入門、論理回路、コンピュータ数値解析



【研究テーマ】

目には見えない
無線通信ネットワークで
人とモノをつなげる
新たな未来を

1990年代後半から爆発的に普及した携帯電話は、世の中に劇的な変革をもたらしました。工藤先生はその開発の先端に立ち、進歩著しいIoTの可能性を模索し続けてきた一人です。現在取り組んでいるセンサネットワークを駆使した屋内位置推定法の研究も、本学が重視しているAIを取り入れながら、より応用の幅を広げています。日進月歩の通信技術がどのように活用され、どんな未来を描くのか詳しく聞きました。



工藤研究室の様子

電気通信企業の入社をきっかけに 通信に関する知識ゼロからの出発

——通信分野に進むきっかけは。

大学時代は、物理学科で学んでいました。この頃、まだ携帯電話が普及していなかったので、情報通信分野を専門にするとは全く思っていませんでした。大学院2年目で就職を考えていた時、担当教授から日本電信電話株式会社(NTT)を薦められ入社したのですが、通信の会社に入ったのですから、学生時代の専門にこだわった部署に行っても幸せになれるか疑問を感じました。無線通信に関する研究も今ほど盛んではなく、私自身、知識ゼロの状況からのスタートとなりました。

——最初に手応えを感じたのはいつですか。

無線通信技術が飛躍的に発達する黎明期に立ち会えたことは、今ではとても幸運だったと感じています。わからないことだらけで、発見の連続だったのですが、だからといって悲壮感に暮れる毎日という訳ではありませんでした。入社して1年ほど経って初めて学会発表した時、聞いていた方がほめていたと上司から伝えられたのがうれしくて、やっていることは間違っていなかったのかなと、ちょっと自信が得られたのが大きな一歩になったと思っています。

マルチセンシング情報を用いた 位置推定で作業効率と安全性を向上

——本学では、どんな研究に取り組んでいるのですか。

現在、取り組んでいるのは、マルチセンシング情報を用いる屋内における位置推定です。位置推定の技術としては、カーナビなどで利用されているGPSの電波がよく知られていますが、屋内では受信しにくくなります。屋内では、Wi-Fiなどの無線LANが利用されることが多いのですが、これらの電波は壁や天井に反射した波が複雑に重なり合うので、電波の強弱だけで正確な位置を推定するのは困難です。そこで、現在普及が進むIoTを活用し、照度や温度、湿度といったセンシング情報を獲得します。それらは、位置に依存するので、屋内で位置推定が可能になる手法を研究し、その有効性を実験で検証しているところです。

——無線通信の技術をどのように学ぶのですか。

無線機の特性を評価するためには、無線伝搬路を模擬するシミュレータを使いますが、これは高価で気軽に使えません。また、電波は目視できないので、学び始めの学生にとってイメージしにくいものになりがちです。そこで、私の研究室では、安価なマイコンボードを使って無線伝搬路を模擬し、オシロスコープによって波形を見る実験を行います。また、RF通信トレーナなどの無線信号発生器で発生させた信号をスペクトラムアナライザで周波数を検出し、周波数ホッピング伝送する実験にも取り組んでいます。

——どのように応用されていく技術なのですか。

位置推定に関しては、Society5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会)や、デジタルツイン(現実の世界から収集した様々なデータをコンピュータ上で再現する技術)といった、バーチャル空間でリアルな再現を行い、そのシミュレーション結果を



実際の生活にも役立てるという技術革新を起こすためのキーとなる技術の1つではないかと考えています。例えば、建設工事においては、バーチャル空間で効率性の高い作業手順を求めるシミュレーションを行い、その結果を実際の現場で活かすことができるはずです。そんな場面に、屋内での位置推定技術は大いに活用できると考えています。

内なる好奇心に従って関心を深め 知的探究の喜びを得られる経験を

——本学で学ぶ学生に望むことは。

身の回りには、スマホなど便利な機器にあふれていて、知りたい情報をすぐに得ることができます。その便利さのおかげで、原理や仕組みを知らないままに終えてしまうことが多々あると感じています。学生の皆さんには、いろいろな事象に好奇心を持ち、考えを深めていく習慣をつけて欲しいと願っています。インターネット検索で様々な記事を読覧することができますが、すべてを鵜呑みにせず、真理を見極めようという姿勢を大事にして欲しいですね。

——進路に悩む学生にアドバイスを。

私自身、工学部で通信技術を教える立場になるとは、想像もしていませんでした。ここまでの道程を振り返ってみると、積極的に吸収してきた知識や情報が本当にたくさんあったと感じています。その学びの中で、昨日分からなかったことが、今日理解できるようになってうれしいという単純な喜びこそが、前へ進む原動力になったと思います。世の中には、すぐに答えが得られるものばかりではありません。時間をかけて難解な問題に取り組むことで身につくことがたくさんあります。皆さんにも、多くの困難や経験から学び、その上で自分らしい道を切り拓いて欲しいと願っています。



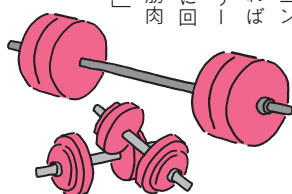
1 ローコストで、ワイヤレスセンサネットワークを学ぶのに最適なZigBee無線端末
2 オシロスコープで電波の波形を確認



わたしと 筋トレ

「相変らずが一番好きな、あんまり相変るものだから」
(夏目漱石「それから」より)

物理学では、数式等を用いて多くの自然現象が説明されます。学生時代、セミナーのときに先生からパウリの排他律のことを「受け入れるしかない」と説明されたときに、(神が決めたこととして受け入れればそれ以上悩まなくて済むわけですから)神の存在を信じる心境が腑に落ちました。私自身は特定の宗教の信者ではありませんが、変えられないものを受け入れるために信仰するのではないだろうか。自分でコントロールできないことが起きても、誰からも変えられないものを持っていれば、心を落ち着かせることはできます。100kgのバーベルはいつも100kgです。裏切られたり失ったりしても、バーベルやダンベルを持ち上げれば変わらぬ重さを感じ、変わらぬ筋肉を確認できます。筋肉は誰からも奪われることはありません。一度得られた筋肉はその後衰えても、トレーニングを再開すればマッスルメモリーによってすぐに回復します。「筋肉は裏切らない」は名言です。



COLUMN

おしえてください
研究者の「こころの中」



ホッペで

教員×学生

Lab Talk!

研究室対談

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 宮曽根研究室

宮曽根先生 林さんは、2年時にこの大学へ編入してきたんだよね。試験結果や面接を担当した先生の話から、とても真面目でしっかりした学生だという印象を持っていました。

林さん 以前はビジネス系の専門学校で簿記や宅建などの資格取得を頑張っていたんですが、宮曽根先生の「コミュニケーション入門」を受講してから、ぜひ先生のご指導を受けたいと希望していました。

宮曽根先生 そうですか。私は卒論の指導を徐々に厳し

林さん そうかもしれないですね。中学生の頃からハンドボールをずっと続けてきて、コーチを何度か任された経験が、このテーマを選んだ理由になっています。帰結として、チームスポーツと同様、一つの団体としての会社組織にも言及し、組織内コミュニケーションのあり方についてのヒントも得られると考えます。

宮曽根先生 そうですね。仕事に対してポジティブな心理状態を持つワークエンゲージメントの内容につながっていくんじゃないかな。好きなスポーツをするように仕事



ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科

みや ぞね みか
宮曽根 美香 教授

ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科 4年

はやし ゆう と
林 侑杜さん

未知の分野から
自らの興味に従って
研究テーマを選び
考察の積み重ねで
納得の帰結へ。

くしていく方なので、4年生後半になると、みんな必死です。

林さん そ、そうなんですか!?

宮曽根先生 昨年度は議論と加筆・修正を何度も重ねた研究が複数ありました。最後は達成感があったのではないのでしょうか。林さんは、もう研究テーマを固めていますよね。

林さん はい、私は「チームスポーツにおけるコミュニケーション—監督・コーチと選手に焦点を置いて—」というテーマで取り組みます。

宮曽根先生 題材は、その研究でオリジナリティが出せること、意義があるもの、自分が好きな対象であることを条件に考えるよう、指導しています。私とブレインストーミングする過程でテーマを変更する学生がいる中、林さんは当初から変わっていませんよね。芯の強い人なんだ…と思いました。

にやりがいを感じると、個人の生産性もアップし、会社の利益向上につながりますから。

林さん これまで、スポーツをテーマに研究を進めた先輩はいましたか?

宮曽根先生 ええ、野球やサッカーなど、いろいろありました。ちなみに私は、クロスカントリーランニングとクロスカントリースキーの選手だったんですよ。

林さん そうなんですか! 先生はヨガのインストラクターでもありますよね。学生にも指導しているんですか?

宮曽根先生 「身体表現」の授業で教えています。

林さん 私は、接骨院の先生に心配されるくらい柔軟性がゼロなんですけど…。

宮曽根先生 最初から無理をせず、呼吸を意識しながら体に応じて動きを調整していくといいですよ。

林さん はい、試してみたいと思います。

研究活動を通して、日々繰り返されている先生と学生の対話。
そんなお互いのリスペクトに満ちたトークに耳を傾けてみませんか。

過去の対談は
こちらから！



工学部 情報通信工学科 工藤研究室

工藤先生 佐藤さんは、仙台城南高校の卒業生ですね。在学中は、学校のバックアップを得ながら、様々な資格の取得に頑張ったと聞いていますよ。

佐藤さん はい、電気通信の工事担任者総合種、第一種電気工事士、情報配線施工技能士2級など合計8つの資格を取得しました。毎日、放課後の3時間を資格の勉強に充てていましたね。

工藤先生 それはすごい！研究室でも、いろんなことに好奇心を持って取り組んでいると感心しています。

工藤先生 実験で採取したデータは最終的に学会等で発表しますが、間違ったことを発表してはいけませんし、条件も正確に伝えないといけないですから。技術の世界って、厳格さを求められる場面が多いので、私が指導している間は、ちゃんと見てあげたいという思いがあるんです。

佐藤さん なるほど。

工藤先生 学生の皆さんには、いつも考える習慣を身につけてほしいんです。佐藤さんは、これから大学院で



世に役立つ技術を
生み出すために
正しい実験データに
基づく研究成果を。

工学部
情報通信工学科

く どう えい すけ
工藤 栄亮教授

工学研究科 通信工学専攻
博士(前期)課程1年

さ どう しゅん き
佐藤 駿輝さん

佐藤さん 工藤先生に対する印象は、講義を受けていた頃は、人当たりがソフトで優しい方だなと思っていました。でも…。

工藤先生 えっ？今はそんなに印象が違うの？

佐藤さん 研究室でご指導を受ける中で、私が制作したプレゼンテーション資料をチェックしていただいたことが何度かあるんですが、その度にたくさんの直しが入って…先生の厳しい一面を知り驚きました。

工藤先生 それについては、厳しく指導していると自覚があります。学生が最初に提出する実験データは、基本的に信用していません。実験だけでなく、理論や計算機シミュレーションでも検証するのが理想ですが、理論値がわからなくてもリーズナブルなものかどうか、多角的に考える習慣を身につけてほしいんです。

佐藤さん やっぱ厳しいんだよねあ…。

目指す目標ってありますか？

佐藤さん はい、卒業研究で取り組んだ「屋内平面空間位置推定におけるニューラルネットワーク構成法に関する研究」では、センサデータの処理にディープラーニングの手法を取り入れたのですが、一歩手前までのレベルでとどまっていたので、もっと精密な処理方法を研究できればと思っています。

工藤先生 4年生までの研究では、比較的簡単なAIの機械学習モデルを使って位置推定する段階まで進んだので、今後はもっと高度なアルゴリズムで検証し、実験を繰り返して試行錯誤の上で最適手法を見出してくれるよう期待していますね。

佐藤さん はい、これからも先生からたくさんダメ出しをもらおうと思いますが、モチベーションを高く保ちながら、新しい研究に取り組んでいきたいと思っています！

地域連携センター【CRC: Center for Regional Collaboration】

地域の課題解決や活力創出に貢献するべく事業を展開しています。

◆本学が事業に参画した「道の駅津山もくもくランド」がリニューアルオープン

2020年度より、登米市と本学では津山町に位置する「道の駅津山もくもくランド」の復興活性化構想(グランドデザイン)策定事業への協力を行ってきました。令和4年の秋より新たな事業としてもくもくランド店内レイアウトデザインに取り組み、本学教職員・学生の協力により、令和5年1月2日、道の駅津山「もくもくランド」が、リニューアルオープンしました。木工芸品などの地域資源を活かしながら、地域の核となる道の駅を目指し、今後も連携を進めていきます。



かさ上げ工事が完成した「道の駅もくもくランド」



教職員・学生によるレイアウト作業の様子

◆石巻市と「包括連携・協力に関する協定」を締結

2月2日(木)、石巻市と「包括連携・協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、双方が有する資源を積極的に活用し、相互に連携・協力することにより、人材育成、地域の活性化を図ることを目的としたものです。

本学はこれまで、東日本大震災によって甚大な被害を受けた石巻市雄勝地区の再生や、伝統工芸品である「雄勝硯」や天然スレート等の産業支援に協力してきました。今後は、本学の研究シーズを活用し、石巻市全体の地域活性化や産業振興、伝統技術の継承等、地域の発展に資する協力を行っていきます。



渡邊浩文学長と齋藤正美石巻市長

◆オンラインシンポジウム「これからの地域のくらしと工芸 ～秋岡芳夫・時松辰夫の足跡と思想から学ぶ～」を開催

本学の地域振興の歴史を振り返り、持続可能な社会や地域のあり方を考えるシンポジウムを2月24日(金)に開催。昨今の環境課題や気候変動には様々な要因がありますが、地域の資源を有効活用し、地域振興に活かした、故秋岡芳夫氏・時松辰夫氏の実践と思想から、SDGsに通じる視点を改めてとらえ直すことが目的のシンポジウムです。両氏の思想の原点は、「消費者から愛用者に」、「知恵あるくらし」、「モノづくりと人間らしさ」であり、「手のちから・木のちから」、「山村クラフト・地域のくらし」などがキーワードになります。現代の課題に必要な要素を「作



東北工業大学一番町ロビーから配信

り手、つなぎ手」の両面から登壇者と共に考えました。シンポジウムでは、次世代への私達の課題として、人材育成や教育という視点から、地域と学術機関の関係性などについて考えました。このような場を継続的に企画し、今後も持続可能な地域づくりに資する活動を進めていきます。

主催：東北工業大学 地域のくらし共創デザイン研究所/地域連携センター / 手しごとAKIU



シンポジウム会場登壇の様子



研究支援センター【RSC: Research Support Center】

企業および各種団体との共同研究や受託研究を推進し、科研費等の外部資金研究開発推進等を行っています。

◆トーキン科学技術賞で最優秀賞を受賞



受賞者代表として挨拶する縄田先生／
トーキン財団賞状

なわ た こう じ
縄田 耕二准教授(工学部 情報通信工学科)

工学部 情報通信工学科 縄田耕二准教授が、「周期分極反転非線形光学結晶によるバックワードテラヘルツ波パラメトリック発振に関する研究」で、トーキン科学技術賞最優秀賞を受賞しました。3月14日(火)にウェスティンホテル仙台で、公益財団法人トーキン科学技術振興財団※ 第33回(令和4年度)トーキン科学技術賞の贈賞式が行われ、縄田准教授より受賞者を代表して挨拶と講演を行いました。

※株式会社トーキン発祥の地である宮城県内の研究者に報いるため、工学分野の研究への助成、研究成果への奨励を目的に、平成2年に設立されたものです。

◆「東北工業大学オンライン秋田県円卓会議～持続可能な東北を目指して～」を開催

わた なべ ひろのり ふな き なお き
渡邊 浩文学長、船木 尚己教授(建築学部 建築学科) ほか

昨年12月10日(土)、ホテルメトロポリタン秋田(オンライン配信併用)で「東北工業大学秋田県円卓会議～持続可能な東北を目指して～」を開催。前半は、現在取り組んでいる研究事例の講演・話題提供として、建築学科の船木尚己教授より「常時微動測定に基づいた建物の耐震性能評価」をテーマに講演し、後半は渡邊浩文学長が「大学の近況及び東北SDGs実践拠点について」の講演を行いました。続いて東北工業大学同窓会から4名が登壇し、「秋田から工大に期待したいこと」をテーマに講演した後、参加した先生方との活発な意見交換を行い、充実した公開情報交換会になりました。



渡邊浩文学長より大学の近況報告



建築学部 建築学科 船木尚己教授の講演



登壇者と学長の
記念撮影

◆東北SDGs研究実践拠点 研究活動紹介動画を公開

東北工業大学の研究活動をよりわかりやすく紹介するため、「東北SDGs研究実践拠点 研究紹介動画」を制作し、
本学Webサイトに公開しました。ぜひご覧ください。



工学部 情報通信工学科 中村琢己准教授
『VR技術を活用した教育用システムの開発』



工学部 都市マネジメント学科 菅原景一准教授
『温故知新-近世の手法を現代の技術で評価して
環境と防災の両立を』



工学部 環境応用化学学科 丸尾容子教授
『においを可視化する:呼吸による健康管理を可能にする社会へ』



建築学部 建築学科 中村琢己准教授
『歴史ある建物を未来へ伝える保存修復と活用』



ライフデザイン学部 生活デザイン学科 大沼正寛教授
『家と庭と景と | 地域らしさを深めるデザイン研究』



ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 川島和浩教授
『会計情報の活用とSDGs経営を実践する中小企業の調査研究』

キャンパス通信

◆東北工業大学課外活動優秀者表彰式(令和5年2月9日)



体育または文化活動等の課外活動において、優秀な成績を収めた個人の部43名、団体の部3団体の栄誉を讃える表彰式が、2月9日(木)に八木山キャンパスで行われました。課外活動連合委員会加盟団体に所属する学生と教職員が見守る中、渡邊浩文学長と小鹿信弘後援会長から表彰状と副賞が授与された後、受賞者に向けてお祝いの言葉が贈られました。表彰された団体や学生個人だけではなく、式を見守った学生たちにとっても、来年度の活動への意識が高まる表彰式となりました。

[個人の部(課外連団体所属)]

学科	学年	氏名	大会名または活動内容	成績など	所属等
都市マネジメント学科	2	本田 竜輝	第63回全日本理工科学生柔道大会	男子団体の部 第1位、最優秀選手賞	柔道部
	2	芦野 樹	第63回全日本理工科学生柔道大会	男子団体の部 第1位、最優秀選手賞	
	2	須藤 結子	第63回全日本理工科学生柔道大会	女子個人の部 第2位	
経営コミュニケーション学科	3	秋藤 北澄	令和4年度東北地区大学準硬式野球秋季リーグ戦(2部リーグ) 第40回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	最高殊勲選手賞、首位打者賞 全東北代表	準硬式 野球部
生活デザイン学科	1	鈴木 龍太郎	第40回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	全東北代表	
	3	川村 颯	令和4年度東北地区大学準硬式野球春季リーグ戦	優秀選手賞	
	1	佐久間 永翔	令和4年度仙台六大学野球秋季リーグ戦	優秀新人賞	硬式野球部

[個人の部(その他)]

学科	学年	氏名	大会名または活動内容	成績など
情報通信工学科	2	山田 美月	第49回東北総合体育大会ボウリング競技	成年女子2人チーム戦優勝
			第49回東北総合体育大会ボウリング競技	成年女子4人チーム戦3位
			第60回全日本大学ボウリング選手権大会	第4位

[個人の部(学科・センター推薦)]

学科・専攻	学年	氏名	大会名または活動内容	成績など
電気電子工学科	3	木村 流宇斗	第13回世界ジュニアスリークション選手権	グループ3位
	3	菊池 香助	紙飛行機の大会「Red Bull Paper Wings(レッドブルペーパーウィングス)」の国内地方予選「最長飛行時間」部門で優勝し国内決勝大会に出場	全国大会出場
都市マネジメント学科	4	興石 麻衣	第14回廃棄物資源循環学会東北支部&第10回日本水環境学会東北支部合同研究発表会	優秀発表賞
	4	田村 裕之	第14回廃棄物資源循環学会東北支部&第10回日本水環境学会東北支部合同研究発表会	奨励賞
建築学科	4	五十嵐 健太	JSCA東北支部「構造デザインコンテスト」 日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	最優秀賞 最優秀賞
	4	上村 久志	JSCA東北支部「構造デザインコンテスト」 日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	最優秀賞 優秀賞
	4	櫻田 寛生	JSCA東北支部「構造デザインコンテスト」 日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	最優秀賞 優秀賞
	4	三浦 大器	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	最優秀賞
	4	菊地 健汰	JSCA東北支部「構造デザインコンテスト」	最優秀賞
	4	須藤 寛天	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	最優秀賞
	4	千葉 龍矢	JIA東北建築学生賞 アーキテクツウィーク建築学生テクニカルセミナー	特別賞 出展、発表
	3	高橋 杜真	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	最優秀賞
	3	高橋 太陽	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	優秀賞
	3	佐藤 恒歩	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	最優秀賞
	3	加茂 賢登	アーキテクツウィーク2022フォトコンテスト 建築を推せ! 日建学院ライセンスガイドブック デザインコンペ	審査員特別賞 特別賞
	3	阿部 晴登	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	優秀賞
	3	菅野 暉	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	特別賞
	3	白井 愛莉	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	特別賞
	3	鈴木 優芽	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	特別賞
	3	田中 堅太郎	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	特別賞
	3	畑山 豊	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	特別賞
	3	秋葉 美緒	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ 島根県美郷町若者定住住宅団地プロポーザル	優秀賞 最優秀
	3	高畑 翔	島根県美郷町若者定住住宅団地プロポーザル	最優秀
	3	永窪 輝斗	島根県美郷町若者定住住宅団地プロポーザル	最優秀
	3	山内 悠一斗	島根県美郷町若者定住住宅団地プロポーザル	最優秀

学科・専攻	学年	氏名	大会名または活動内容	成績など
建築学科	3	海道 遥佳	第20回 主張する「みせ」学生デザインコンペ	奨励賞
建築学専攻	2	小山田 陽太	日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	最優秀賞
			第1回玉善デザインコンペティション	佳作
			第14回ハーフェレ学生デザインコンペティション2022	一次審査通過
	2	武田 亮	JSCA東北支部「構造デザインコンテスト」	最優秀賞
			日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ	優秀賞
			日本建築学会コンペ「『他者』とともに生きる建築」	支部入選(東北)
	1	及川 龍人	卒業設計日本一決定戦・せんだいデザインリーグ2022(405作品中11選)	ファイナル
	1	木村 華	乃村文化財団「学生卒業設計・制作 NCF空間ディスプレイアワード」	優秀賞
日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の学生設計コンペ			優秀賞	
日本建築学会コンペ「『他者』とともに生きる建築」			支部入選(東北)	
1	吉岡 昇一	日本建築学会コンペ「『他者』とともに生きる建築」	支部入選(東北)	
1	黒羽 巧真	日本建築学会 優秀卒業論文賞	優秀卒論賞	
産業デザイン学科	3	渡邊 一太	JAGDA国際学生ポスターアワード2022	入選
			日本タイポグラフィ年鑑2023 学生部門	入選
生活デザイン学科	3	熊谷 有記	石巻市美術展	NHK仙台放送局賞
経営コミュニケーション学科	3	岩本 功太	第39回全日本級別サーフィン選手権大会	準優勝

[団体の部]

※学生の学年は、表彰式当時のものです。

団体名	大会名または活動内容	成績など
柔道部	第63回全日本理工科学生柔道大会	男子団体の部 第1位
準硬式野球部	令和4年度東北地区大学準硬式野球秋季リーグ戦(2部リーグ)	優勝(1部昇格)
女子バレーボール部	第60回東北バレーボール大学男女リーグ戦(2022年度秋季リーグ)	3部南第1位(2部昇格)

◆令和4年度学位授与式(令和5年3月20日)

令和4年度の学位授与式が、3月20日(月)に執り行われました。渡邊浩文学長より式辞の後、学部生代表の川島優輝さん(工学部建築学科)、修了生代表の佐藤優太さん(ライフデザイン学研究科デザイン工学専攻)が答辞を述べました。卒業生、修了生の皆さんの今後のご活躍を心よりお祈りいたします。



令和4年度 学位授与者

学部 合計808名

●工学部

学科	人数
電気電子工学科	122名
情報通信工学科	105名
建築学科	128名
都市マネジメント学科	98名
環境エネルギー学科	78名
合計	531名

●ライフデザイン学部

学科	人数
産業デザイン学科	90名
生活デザイン学科	98名
経営コミュニケーション学科	89名
合計	277名

大学院 合計36名

●工学研究科 博士(前期)課程

専攻	人数
電子工学専攻	3名
通信工学専攻	7名
建築学専攻	11名
土木工学専攻	3名
環境情報工学専攻	4名

●ライフデザイン学研究科博士(前期)課程

専攻	人数
デザイン工学専攻	4名

●工学研究科 博士(前期)課程

専攻	人数
電子工学専攻	2名
建築学専攻	1名
環境情報工学専攻	1名

— Pick up! —

工大クラブ・サークルFILE

体育会系・文化系あわせて50を超えるクラブ・サークルが活動中です。ピックアップしてご紹介します。

FILE

06



自慢のチームワークでリーグ優勝!

女子バレーボール部

しまだ さやか

ライフデザイン学部 生活デザイン学科 3年 主将 嶋田 紗華さん

女子バレーボール部は、現在部員6人で活動しています。2022年度の秋季リーグに初めて試合に参加することができ、3部で優勝して2部に昇格しました。しかし、部員が少なく、学業の都合から全員揃っての練習がなかなか行えていない状況です。そのため、絶賛部員を募集中です。今後は、人数が増えることによってできる練習も豊富になり、確実にレベルアップを

していこうと思っています。女子バレーボール部のアピールポイントは学年を問わない部員同士の仲の良さ、一方でそれぞれの課題を共有して意見を言い合い、一つ一つクリアしていく一生懸命なところなんです。



クラブ・サークル紹介

<https://www.tohtech.ac.jp/campus/club/>



◆2022年度(令和4年度)卒業研修発表・展示会レポート

工学部 電気電子工学科

【日時】2月24日(金)

【会場】八木山キャンパス9号館1階、937教室、10号館1階



午前中に69件のポスター発表、午後には10件の口頭発表を実施。学生同士、また学生と教員との間で活発な議論がなされ、大変盛況となりました。なお、この卒業研修発表会では、全教員と3・4年生の投票により優秀賞を選出し、学科学位授与式で学科長より表彰されました。

工学部 情報通信工学科

【日時】2月24日(金)

【会場】八木山キャンパス9号館2階



スライドを用いた口頭発表形式で開催。82件すべてに努力のあが見受けられ、4年間を通じて得られた大きな成長を感じられました。質疑応答の時間には、学生・教員による活発な議論も交わされ、一部会場では2・3年生が聴講。発表後、学生による投票が行われ、優秀発表賞が決定しました。

工学部 都市マネジメント学科

【日時】2月9日(木)・10日(金)

【会場】八木山キャンパス631教室・632教室

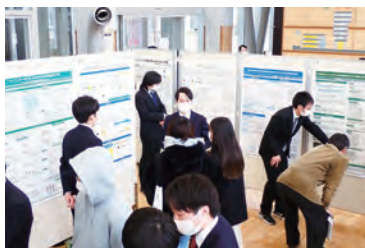


橋梁や河川、海岸、地盤、コンクリート、交通、観光、政策、建設マネジメント、上下水道、環境など幅広い分野のテーマで取り組んだ卒業研修論文について発表し、先生方からの“やさしい質問”に対して答えるなど、これまでにない緊張感を味わって充実した時間を過ごしていました。

工学部 環境エネルギー学科(現:環境応用化学科)

【日時】2月13日(月)

【会場】八木山キャンパス10号館1階tohtech FORUM



対面形式の発表会は3年ぶりで、環境エネルギー学科としては最後の発表会となりました(令和5年度より環境応用化学科に科名変更)。3年次後期の研究室配属からおおよそ1年半にわたる成果全46件(共同研究も含む)を発表。学部3年生が参加し、活発な議論が行われました。

工学部 建築学科(現:建築学部 建築学科)

【日時】2月25日(土)~28日(火)

【会場】八木山キャンパス10号館1階tohtech FORUM



建築学科卒業研修制作展「建築学展A・」を開催。卒業設計24点と修士設計2点のほか、各教員や研究室の活動紹介パネルも展示。最終日には、外部から5名の審査員を招き、公開審査会を実施しました。

ライフデザイン学部 産業デザイン学科

【日時】2月8日(水)・9日(木)

【会場】AER 5F 仙台市中小企業活性化センター多目的ホール



今年度は、例年と違い2日間という短い日程ながら、たくさんの来場者に恵まれました。開催の様子は、本学公式YouTubeチャンネル「TOHTECH CHANNEL」に掲載しています。

ライフデザイン学部 生活デザイン学科

【日時】1月27日(金)~2月1日(水)

【会場】仙台フォーラス7階ギャラリースペース(even)



期間中に卒業研修発表会も行い、YouTubeにてライブ配信しました。4年生は緊張した面持ちで発表に臨んでいました。お忙しい中、会場に足を運んでくださった関係者の方々や、来場できない方にもオンラインで成果を報告することができ、実りの多い成果発表会になりました。

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科

【日時】1月25日(水)

【会場】長町キャンパスR121教室



各研究室で事前に審査を行い、代表者がプレゼンテーションを実施という方法を採用、次年度より本格的に卒業研修に臨む3年生、研究室配属直前の2年生も参加しての大きな発表会となりました。それぞれがどのような研究を行ったのかを、4年生もお互いに知る良い機会となりました。

Event

4・5月の一歩町ロビー催事案内

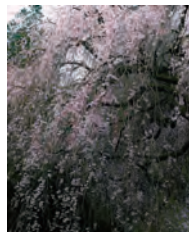
●開館時間／11:00～17:00（最終日は16:00まで） ●休館日／水・木曜日 ●入館料／無料

●野澤 文夫写真展「山の桜はいかでやあらん」

主催：野澤 文夫

4月7日(金)～11日(火)

四国山中、日本のマチュピチュと言われた高知県仁淀川町別枝。別枝には四国を代表する桜が数多くあり、季節には関西や四国から多くの花見客が訪れます。その一つ市川家の枝垂桜は、旧土佐藩七口のうち、松山藩境別枝口番所役人市川家に伝えられ、長く家人によって大切に育まれ、3月中旬には美しく咲き誇ります。



●杜のなかま展

主催：NHK文化センター仙台 パステル画教室、

河北TBCカルチャーセンター 絵画を楽しむなかまの教室

4月14日(金)～18日(火)

コロナ禍で作品発表の場や教室の人数も減り、講座でも元気がない状況です。このままでは身体的にも精神的にも良くないと思い、合同作品展を開催することにしました。新しい仲間や作品に触れることで、描き手はもちろん来場者にも楽しんでもらえる展覧会となっています。



●2023 じゃわめぐ写真展「わだつみの詩」

主催：今野 響児

4月21日(金)～5月2日(火) ※4月26日(水)・27日(木)は休館

わだつみ(綿津見)とは、日本神話の海の神とされている神様。日本は四方を海に囲まれ、万物を生み出す母なる海、豊穡の海としてさまざまな恵みをもたらしてくれています。しかし、いったん荒れ狂うとあらゆるものを呑み込み、破壊してしまう恐ろしい海。そんな海のさまざまな姿の一部を写真に切りとってみました。



●特別休館 5月5日(金)～5月9日(火)

●建築学部1年生 建築ワークショップ報告会

主催：東北工業大学 建築学部

5月12日(金)～16日(火)

本学の建築学部では、オリエンテーションの一環として新入生に対し「建築ワークショップ」を行っています。今回の報告会では、そのワークショップの成果を展示。入学したばかりの1年生が初めてまとめた成果物を高校生や保護者に公開します。



●アトリエクマガイ芸術学院設立41th記念卒業生・講師合同作品展

主催：仙台アトリエクマガイ芸術学院

5月19日(金)～23日(火)

アトリエクマガイ芸術学院は仙台市、山形市で開校41年を迎える芸大・美大受験予備校です。『本物になりたい人たちへ』をコンセプトに、創立以来700名以上の生徒を全国の芸大・美大への合格に導いてきました。今回、卒業生たちと講師の先生方が創り上げてきた作品を展示。多くの来場者に癒しの光を届けられれば幸いです。



●感動と感謝の旅 四国遍路展

主催：NPO法人 お遍路ラガ

5月26日(金)～30日(火)

四国巡礼の旅は、お大師様が修行した道のりをたどる旅ですが、バスやマイカー、バイクや自転車などの交通機関を利用する人がほとんどです。でも、この展示は、歩き遍路という極マイナーな世界の一部を切り取ったものです。歩きながら撮った写真に、出会ったお遍路さんや、地域の人々との一期一会をパネルにしました。



サテライト
キャンパス

一歩町ロビー
Twitter



Schedule

2023年度前期の 主な行事予定

4月

- 入学式
5日(水)
- 前期
オリエンテーション
6日(木)～12日(水)
- CAMPUS OPEN DAY
7日(金)
- 前期授業
13日(木)～
7月25日(火)

6月

- 父母懇談会
3日(土)、4日(日)、
10日(土)、17日(土)、
18日(日)
- オープンキャンパス
24日(土)

7月

- オープンキャンパス
22日(土)、23日(日)
- 前期定期試験
27日(木)～8月1日(火)

8月

- 夏期休業
2日(水)～
9月19日(火)
- 北海道科学大学
総合定期戦
22日(火)、23日(水)
- オープンキャンパス
26日(土)
- 前期成績発表
追再試験時間割発表
31日(木)

9月

- 前期追再試験
5日(火)～8日(金)

New!

東北工業大学Webサイト リニューアル!

この春から本学のWebサイトがリニューアルいたしました。また、法人サイトを新設しております。ぜひご覧ください。

●学校法人東北工業大学
<https://www.tohtech.ac.jp/corporation/>



◀ Webサイトはこちら

将来、文学研究者になることを目指していた私は、卒業論文で取り上げる作家を誰にしようかとあれこれ思い悩んでいた学生時代に、運命の一冊、太宰治『お伽草紙』に出会いました。太宰治は、「ここで選ぶ作家が一生の付き合いになるかもしれないから慎重に選ばねばならぬ」と力んでいる私に、ただただ面白い物語をどうぞ、とこの本を通して語りかけてきたのです。「こぶ取りじいさん」「浦島さん」「カチカチ山」「舌切雀」。誰もが知っている

絵本を好き勝手に作り替えた『お伽草紙』の面白さにやられた私は、この本が昭和20年の敗戦直前に書き上げられたことを知り、もう一度衝撃を受けました。空襲警報が鳴ったら原稿の束を持って防空壕に逃げ込み、空襲が過ぎ去ったら防空壕を出てまた書き続ける。「日本中の空を戦闘機が飛び回り、いつ死ぬか分からないときにこの人は何を書いているんだ」。こうして私の一生の研究テーマ、「戦争と太宰治」が決まったのでした。

君に贈る、ただただ面白い物語を。

【今号の選者】
総合教育センター
高橋 秀太郎 教授



『お伽草紙』
太宰 治 著
(新潮文庫)



数多ある蔵書の中から
巡り合った一冊に、
人生を変えるほどの
感動やひらめきを得られた
エピソードをご紹介します

こころの相談室

学生サポートオフィス カウンセラー 袋地 知恵

● 今回のテーマ

カウンセリングって何? ~気づくことの大切さ~

【Being is choosing. 人生は選択である】

小さなことから大きなことまで、人生は選択の連続です。新入生のみなさんが選択した「本学に入学する」という選択。それは自分自身の選択ですか?あるいは誰かの後押しがありましたか? 選択には容易に決められるものもあれば、迷いを伴うものもあります。そういった迷いを話す場として、本学にはカウンセリングルームがあります。

人によって扱うテーマは様々ですが、カウンセリングの多くは「どうになりたいか」というゴールを設定することから始まります。そして話が深まっていくと、自分自身がどのような行動をしているのか(行動)、どのように考えているのか(思考)、どう感じているのか(感情)ということにあらためて「気づく」ことがあります。最初はなかなか気づくこと自体が難しい場合が多いものの、誰かに話すという経験を通じて自分自身の行動や思考を振り返ったり、どう感じているかにあらためて気づいたりすることが多くあります。

自分のことを話すということは少し勇気のいることかもしれませんが、話すことで気づかなかった自分の一面を知ることがあります。何かしら選択に迷った際、カウンセリングルームで話をしてみるのも1つの選択です。

開室時間:月曜日～金曜日……………10:00～16:00
八木山カウンセリングルーム……………TEL:022-305-3130
長町カウンセリングルーム……………TEL:022-304-5587

SDGsって? 美味しいですか?

#5
Society5.0
研究拠点

「保健(健康福祉)」、「科学技術イノベーション」そして「持続可能な都市」などの17のゴールを定める世界共通の取り組み「SDGs」に賛同し、以下の5つのコア研究テーマに重点的に取り組む「東北SDGs研究実践拠点」の形成を、皆さまとともに進めています。今回ご紹介するのは、「Society5.0研究拠点」です。

Society 5.0とは第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱されたもので、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会と言われています。Society 5.0を実現するには、ICT、AI、IoT、ロボット等の技術が鍵となりますが、本学でもこれらに関連する研究が数多く行われています。本拠点は、これらの研究を連携・推進し、社会に貢献することを目指しています。

この他、本学の取組について、Webサイトにてご覧いただけます。



本学Webサイト
「TOHTECH with SDGs」

表紙の声



ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科4年
はやし りゅうと
林 侑杜さん

学外のハンドボールチームに所属している林さん。「チームスポーツにおけるコミュニケーション」を研究テーマとし、指導者と選手間のコミュニケーションのあり方を検討しています。

